

# 2004 KOC First Meeting

このたび私たちは、これまでの2期にわたるKOC受講生の皆様方の成長の過程をお互いに確認していただき、より多くの先生方、スタッフの皆様方に我々の研鑽活動を知っていただくための第1回ミーティングを企画いたしました。多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております。

川崎俊明 有吉 洋



## 内容

- 10:00-12:30 **“咬合崩壊”** 有吉 洋  
 1. 症例の原因を探る 2. 最近の対応法と考え方
- 13:00-14:30 **症例発表**  
 1. 咬合支持におけるインプラントの応用 井上裕邦 (八代市開業)  
 2. ファーストタイム・プレゼンテーション 椿 誠 (熊本市開業)  
 3. 唇顎口蓋烈患者の前歯部カリエスに対しその対処に苦慮した症例  
 佐藤俊一郎 (阿蘇郡開業)
- 14:45-17:15 **最近の審美歯科の実践** 川崎俊明
- 17:15-17:30 2004年KOCセミナーについて

歯科治療の予後を悪化させる大きな要素は、咬合の不安定に起因する咬合の崩壊である。私の過去の臨床例を通して考えてみると、咬合の崩壊にはいくつかのパターンに分けられると思う。

最近では、インプラントの適応症の拡大に伴い、インプラントを咬合支持に用いたり、歯列不正および病的歯牙移動の矯正治療にインプラントをアンカーとして利用したりすることで、より良い予後の安定を得ることが出来るようになった。

今回、私の過去の咬合崩壊症例の反省と原因を分析し、また、最近のアプローチをご紹介します。

近年の歯科界はさまざまな理論の構築やマテリアルの研究により、審美的治療に関してここ数年大きく変化した。

主なものとしては、接着理論の確立、インプラント適応症の拡大が上げられる。接着により最小限の歯質の削除による修復や、ラミネートベニアによる歯肉縁上マージンに代表されるような軟組織に対する外科的侵襲を最小限にとどめることができるようになった。

インプラントに関してもG.B.Rやソケットリフト等の応用により適応症が飛躍的に拡大し、また審美性が要求される部位での術式にも抜歯即時埋入などの確実性のある方法が確立されつつある。

今回これらの術式に関してお話ししたい。

## 日時

2004年2月22日  
 午前10時～午後5時30分

## 参加費

歯科医師 5,000円  
 同伴スタッフ 3,000円  
 (昼食代、消費税含む)

## 会場

熊本県歯科医師会館3F大ホール  
 〒860-0863 熊本市坪井2丁目3-6  
 096-343-8020

## 振込先

肥後銀行 佐土原支店 普通170638  
 熊本健ロクラブ2 1ベーシックコース  
 事務局 栗津貴昭

## 定員

50名 (入金順受付)

## お申込 お問合せ

〒866-0876 熊本県八代市田中西町18-2  
 KOC事務局 有限会社OURDENT内  
 e-mail: koc@ourdent.com  
 TEL (0965) 33-7492 FAX (0965) 33-9159

KOC2004 First Meeting in 熊本 2004/02/22 申込書 FAX:0965-33-9159

医院名		TEL	
住所		FAX e-mail	
参加者名			